

A vibrant, colorful illustration of two anime-style girls in a dynamic, energetic pose. The girl on the left has long, flowing red hair and blue eyes, wearing a white top and red shorts. The girl on the right has long, flowing purple hair and green eyes, wearing a dark top and red shorts. They appear to be performing a synchronized dance or action sequence.

絶天然色SHOCK

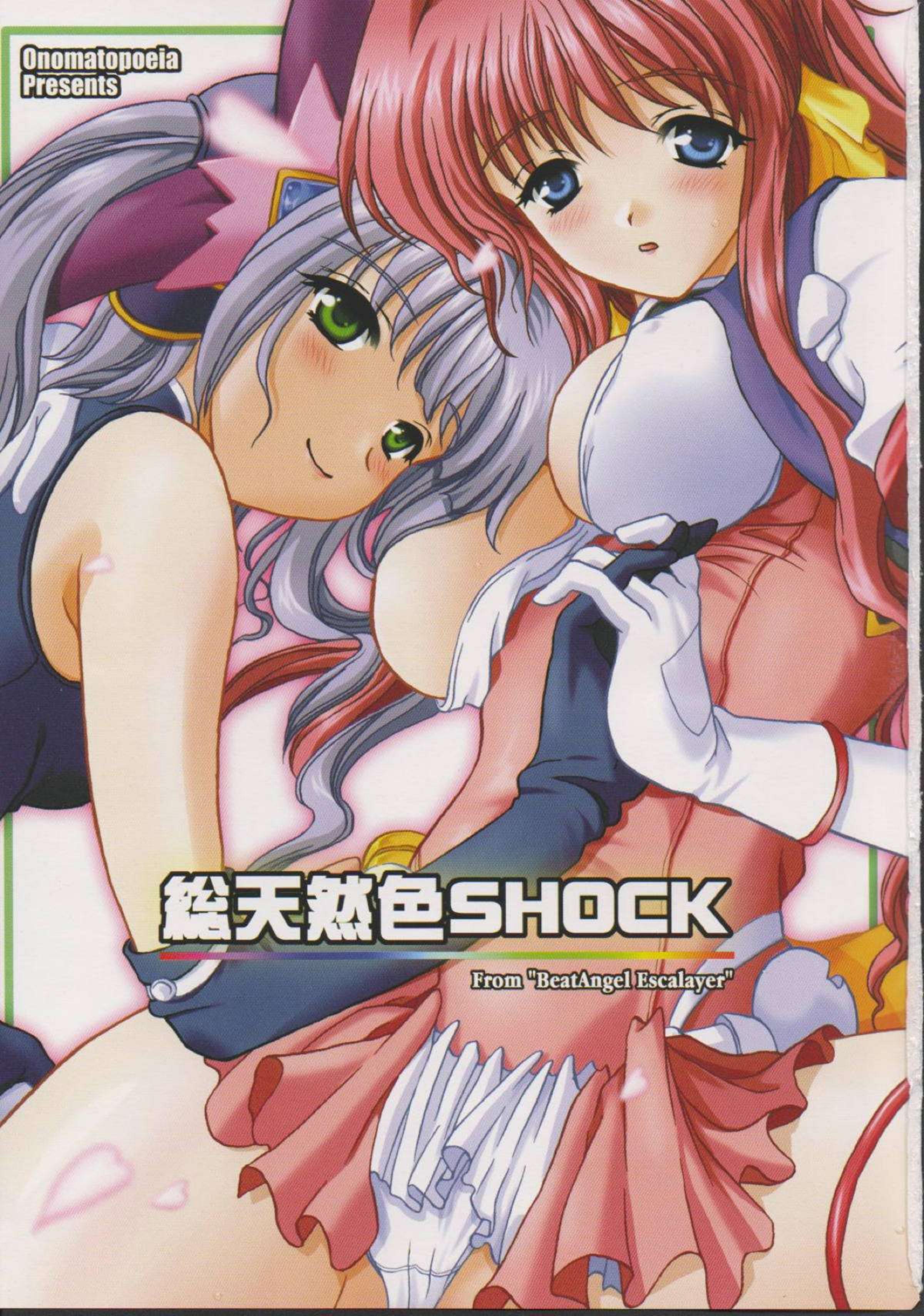
From "BeatAngel Escalayer"

18歳未満
購入禁止



Onomatopoeia
Presents

Onomatopoeia
Presents



船天然色SHOCK

From "BeatAngel Escalayer"

俗天黙色SHOCK

From "BeatAngel Escalayer"

Onomatopoeia 2002

超天然色SHOCK

From "BeatAngel Escalayer"

目次

漫画

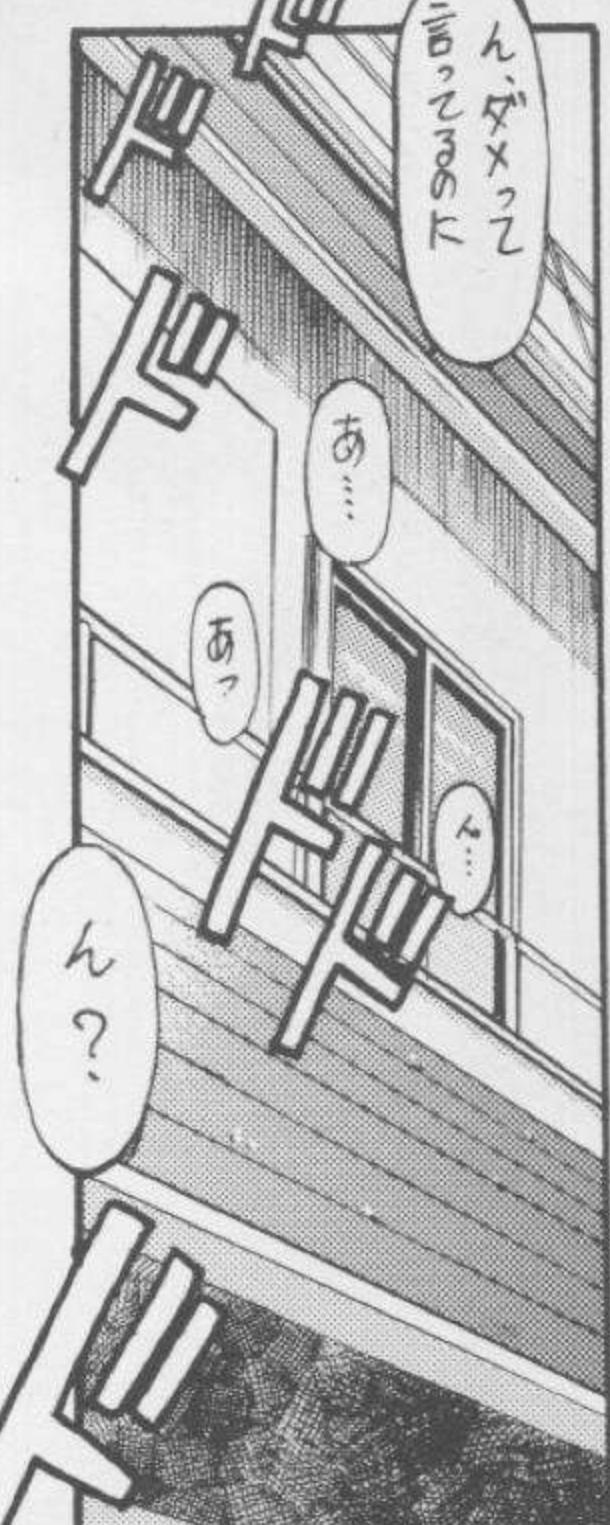
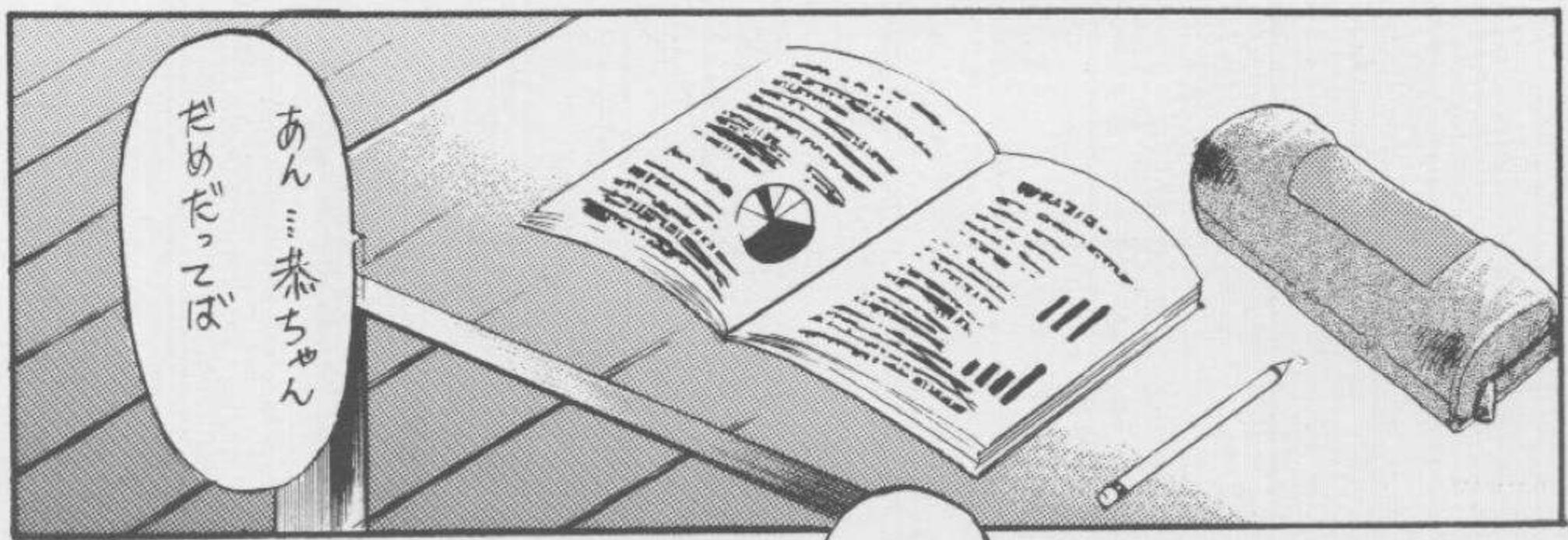
三人でドキドキ
～ななかmixed～

イラスト

7

29

※この本は18禁です。
18歳未満の閲覧、
購読を固くお断りいたします。



やつほ
お姉さま——っ!!

な・な・か・ち・ゃ・ん



大丈夫お姉さま?
さよーへーに凌辱の
限りを尽くされたりしてない?

あーっ。また私を
差し置いて
エッチなことしてろ。



今日に入って
もう三回目だな

え? その、まだ
ぜんぜん…



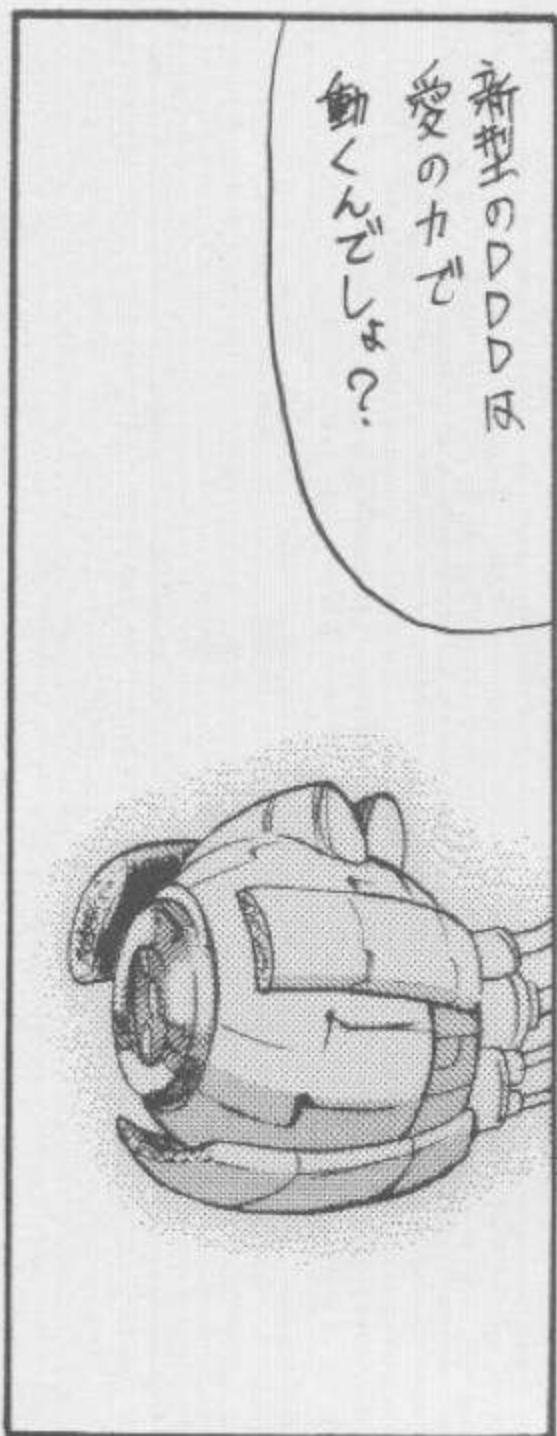
しかもなぜか
エスカの格好で

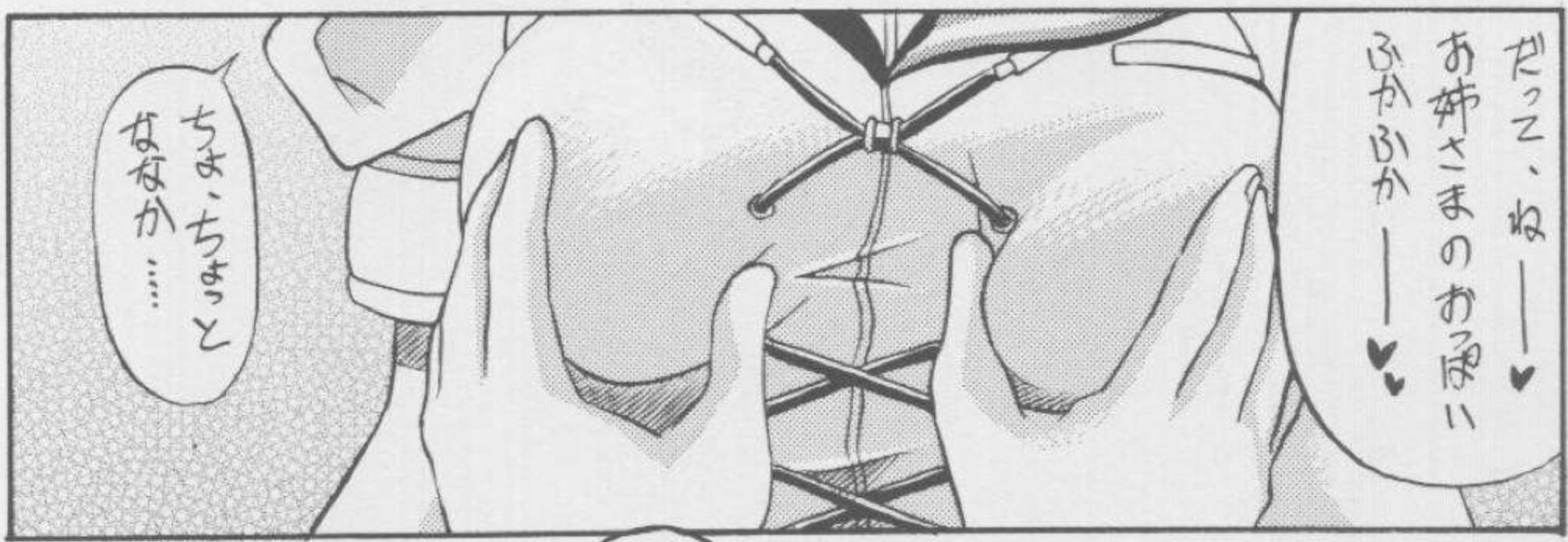


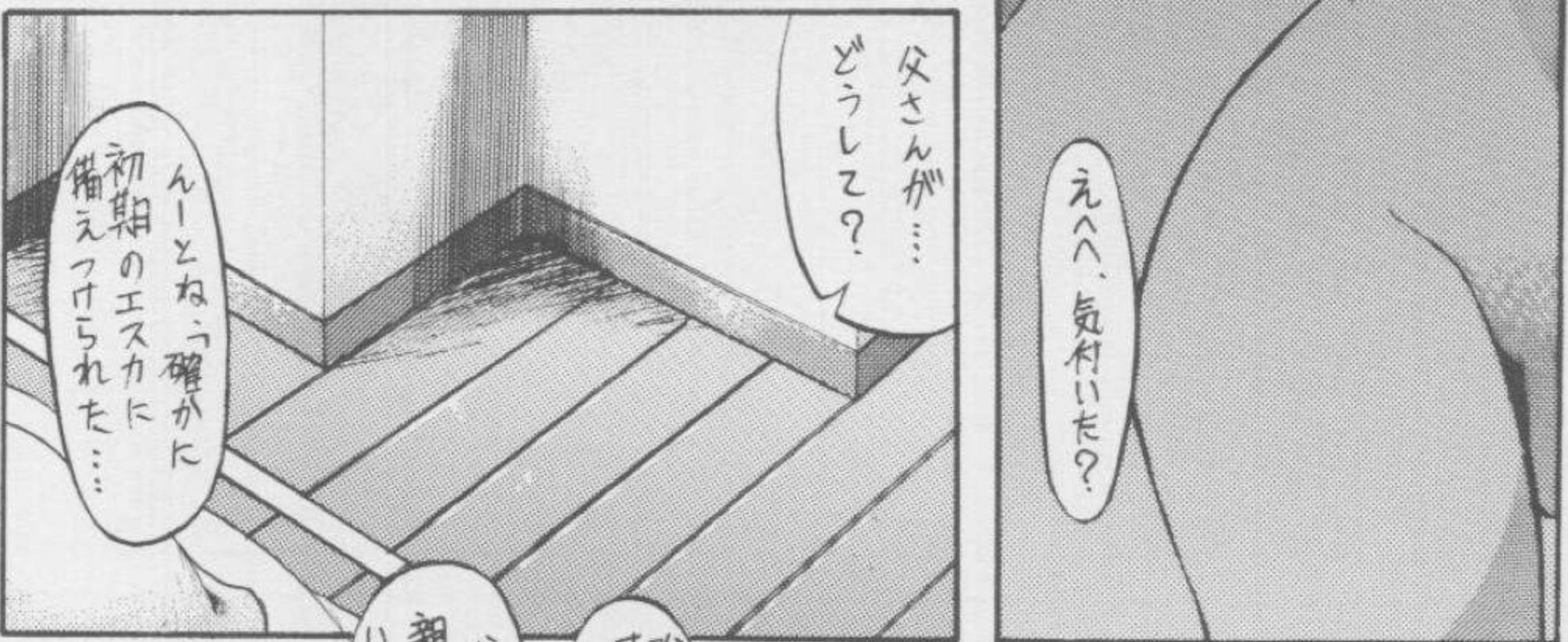




新型のロボット
愛の力で
動くんだよ。















大好きなおねーちゃん
で犯して
さらえるなんてな

うれしーんだ
か?

あんあ

あああ















やつら性器が
2つも有ると違うなー！
そのうちエスカレイヤーも
びっくりな

エッチな身体に
おまんこ

ひやあ♪きよへー
リーハイクイク♥
イクヲト♪

や…なな
膣内なかだしちゃったさ…
あ♥あうあ♥

ああん♥
さよーへー

あ♥

あ…す♥

ハラハラで…
ハラハラで…





a squeeze of talking

レゴです。最近新旧問わず
PCゲームばかりやっているような
気がしますが、名作と呼ばれる作品は
今でも色あせないものだなあと
思うとともに、
それをプレイするデバイス、
たとえば
ジョイステイックや
キーボードが
かつて遊んだものと
違っていると、
どうしても違和感が
ぬくえないのでですね。
Win機でレリクスやイースなどを
やってみて、移植度が完璧で
あれば有るほど

「あとFM77のキーボードさえ有れば…」

なんて思うこともしきりにして。

FM77は1984年に富士通が発売した
8ビットパソコンです。
3.5インチFDDを備えたこの機種は、
記憶媒体の主流が5インチFDDはおろか
カセットテープだった当時としては
非常に画期的だったのですが、いかんせん
メディアが5インチに比べ高価だったことや、
性能的にも旧モデル(FM7)とあまり変わらず、
そのうえ機能及びコストパフォーマンスで
フレイクスルーしたFM77AVが
半年後に発表されたこともあります。
ライバル機はおろか旧機種、
いわばオリジナルにも
あらゆる面で敵わなかつたという
悲しい機種として、一部の
レトロPCユーザーの記憶の片隅に
その名を残すのみとなってしまいました。

…うう、当時の思い出が ゆ(T^T)

キーパッファがたまろうが
FM音源がオプションだろうが
作動中の音が目茶苦茶うるさがろうが
横井には大きく役に立ったよ。

短い付き合いだつたけど。

しまった
ミストレス



今回描いたなながは恭平に
その名を与うられるまでは
「FM77」と呼ばれていたわけですが、
もしやしたらそんな
PC界の過去のことまで考えて
ゲーム作っているとしたら
やるなあアリストソフトと、
畏敬の念を覚えずにはいられないわけです。

さすがはチャンピ（以下略）







afterword

まずはこの本を最後まで読み進めて下さり有難うございます。

前回の「心のり書くる」に続いてアリスゲームを題材にさせていただいたわけですが、同人に出来そうなネタが作品中でほとんどやられてしまっているおかげでわざわざ作らんてええやん、と思うことが多いですね('ω' ;)

それでも
作ってしまうんですか…

特にエスカレイヤーはエロもしつかりきっちりなんて、男性向創作的にはもうガードが堅いというか、スキが無いというか。

今回描いたななが3pもともすればゲーム内で消化されるところだったと言うことなので

そうなるとそれこそ、ミストレーヌ×カルナくらいしか打つ手が無い…

あ、今考えると、それも良かつたなΣ(口')

03年春には書みくいの続編が出るという話もありますし、もうしばらくこちらジャンルに御厄介になることもあるかと思いますが、ええ、アリスソフトのゲームには今後同人誌を作れるようなスキを用意してくれることを希望します('▽')ちゃんとゲームもエロも作っているなら、逆にそういうたスキを作ることも出来ると思います。せいたくな悩みだろうか。

だろうかもなあ。

今回の「総天然色 SHOCK」は、ここまでとなります。また次回の配本でお会いできることを。

文責：横井レゴ



純天然色SHOCK

From "Beat Angel Escalator"

奥付

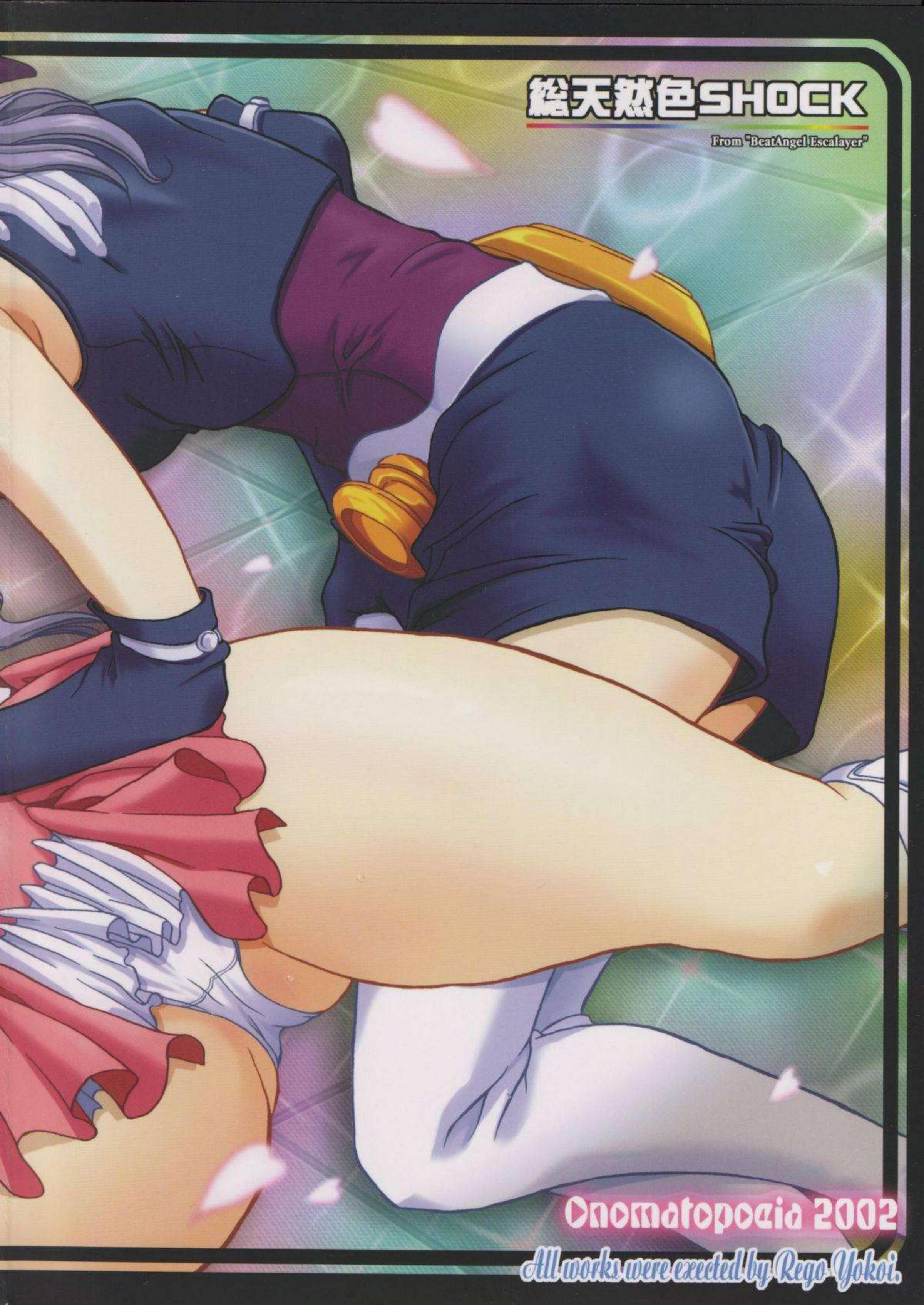
誌名：純天然色ショック

発行元：Onomatopoeia
(オノマトピア)

発行者：坂井芳紀
(PN:横井レコ)

発行元住所：〒176-0012
東京都練馬区豊玉北4-5-6
リリア柏台102号室

発行日：平成14年12月30日



絶天敵色SHOCK

From "BeatAngel Escalayer"

Onomatopoeia 2002

All works were exerted by Rego Yokoi.